

1 (5点)

- (1) 2次不等式 $x^2 + mx + 3m - 5 > 0$ の解がすべての実数となるのは、定数 m の値の範囲が $\boxed{\text{ア}} < m < \boxed{\text{イウ}}$ のときである。
- (2) a, b を定数とする。2次不等式 $ax^2 + bx + 2 > 0$ の解が $-1 < x < 2$ であるとき、 $a = \boxed{\text{エオ}}$ 、 $b = \boxed{\text{カ}}$ である。
- (3) 不等式 $|x^2 + 2x - 8| < 7$ を満たす整数 x は全部で $\boxed{\text{キ}}$ 個ある。

2 (5点)

 a を定数とし、2次関数 $y = 2x^2 - ax + a - 1$ のグラフを C とする。

- (1) グラフ C の頂点の座標は $\left(\frac{a}{\boxed{\text{ア}}}, \frac{\boxed{\text{イ}}a^2 + \boxed{\text{ウ}}a - 8}{\boxed{\text{エ}}} \right)$ である。

また、グラフ C が x 軸に接するときの a の値は $\boxed{\text{オ}} \pm \boxed{\text{カ}}\sqrt{2}$ である。

- (2) グラフ C が、 x 軸の $-1 < x < 1$ の部分と、異なる2点で交わるための a の値の範囲

は $-\frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}} < a < \boxed{\text{ケ}} - \boxed{\text{コ}}\sqrt{2}$ である。

高2文系数学 確認テスト 前期第5講【解答】

1 (5点)

解答 (ア) 2 (イウ) 10 (エオ) -1 (カ) 1 (キ) 4

配点 ア~ウ: 2点, エ~カ: 1点, キ: 2点

2 (5点)

解答 $\frac{a}{(ア)} \frac{a}{4} \frac{(イ)a^2+(ウ)a-8}{(エ)} \frac{-a^2+8a-8}{8}$ (オ) $\pm(カ)\sqrt{2}$ $4 \pm 2\sqrt{2}$

$\frac{(キ)}{(ク)} \frac{1}{2}$ (ケ) $-(コ)\sqrt{2}$ $4-2\sqrt{2}$

配点 ア~エ: 1点, オカ: 1点, キ~コ: 3点

1 (5点)

解説

(1) $x^2+mx+3m-5=0$ の判別式を D とすると

$$D = m^2 - 4 \cdot 1 \cdot (3m - 5) = m^2 - 12m + 20 = (m-2)(m-10)$$

$x^2+mx+3m-5 > 0$ の解がすべての実数となるための条件は $D < 0$ であるから $2 < m < 10$

(2) $-1 < x < 2$ を解にもつ 2 次不等式の 1 つは $(x+1)(x-2) < 0$

すなわち $x^2-x-2 < 0$

よって $-x^2+x+2 > 0$

2 次不等式 $ax^2+bx+2 > 0$ の係数と比較して

$$a = \text{エオ} - 1, b = \text{カ} 1$$

(3) $|x^2+2x-8| < 7$ から $-7 < x^2+2x-8 < 7$

$-7 < x^2+2x-8$ から $x^2+2x-1 > 0$

よって $x < -1-\sqrt{2}, -1+\sqrt{2} < x \dots \dots ①$

$x^2+2x-8 < 7$ から $x^2+2x-15 < 0$

すなわち $(x+5)(x-3) < 0$

よって $-5 < x < 3 \dots \dots ②$

ここで, $1 < \sqrt{2} < 2$ であるから

$$-3 < -1-\sqrt{2} < -2,$$

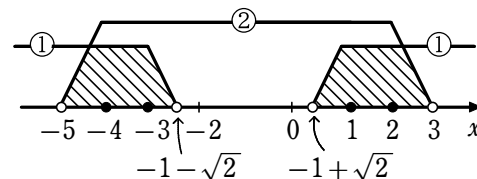
$$0 < -1+\sqrt{2} < 1$$

①, ② の共通範囲を求めて

$$-5 < x < -1-\sqrt{2}, -1+\sqrt{2} < x < 3$$

よって, 不等式を満たす整数 x は

$-4, -3, 1, 2$ の キ 4 個



2 (5点)

解説

(1) $y = 2x^2 - ax + a - 1$

$$= 2\left(x - \frac{a}{4}\right)^2 + \frac{-a^2 + 8a - 8}{8}$$

よって, グラフ C の頂点の座標は $\left(\frac{a}{4}, \frac{-a^2 + 8a - 8}{8}\right)$

また, グラフ C が x 軸に接するとき, 頂点の y 座標が 0 となるから

$$\frac{-a^2 + 8a - 8}{8} = 0$$

整理して $a^2 - 8a + 8 = 0$

これを解いて $a = \text{オ} 4 \pm \text{カ} 2\sqrt{2}$

(2) $f(x) = 2x^2 - ax + a - 1$ とする.

$f(x)$ の x^2 の係数が正であるから, グラフ C は下に凸の放物線である.

また, (1) から, 軸の方程式は $x = \frac{a}{4}$

よって, 右の図から, グラフ C が, x 軸の $-1 < x < 1$ の部分と異なる 2 点で交わるための条件は

$$\frac{-a^2 + 8a - 8}{8} < 0 \dots \dots ①$$

$$f(-1) > 0 \dots \dots ②$$

$$f(1) > 0 \dots \dots ③$$

$$-1 < \frac{a}{4} < 1 \dots \dots ④$$

① を解いて $a < 4 - 2\sqrt{2}, 4 + 2\sqrt{2} < a \dots \dots ⑤$

② から $2 \cdot (-1)^2 - a \cdot (-1) + a - 1 > 0$

よって $a > -\frac{1}{2} \dots \dots ⑥$

また, $f(1) = 2 \cdot 1^2 - a \cdot 1 + a - 1 = 1 > 0$ であるから, ③ はすべての実数 a で成り立つ.

④ から $-4 < a < 4 \dots \dots ⑦$

⑤, ⑥, ⑦ の共通範囲を求めて $-\frac{\text{キ}1}{\text{ク}2} < a < \text{ケ} 4 - \text{コ} 2\sqrt{2}$

